

あゆみさんのクラスでは、「枕草子」の表現をまねて随筆を書きました。次は「枕草子」の第一段と、あゆみさんの書いた文章【A】、ひかるさんの書いた文章【B】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【枕草子】

春はあけぼの。やうやう白くなりゆく山ぎは、すこしあかりて、紫だちたる雲のほそくたなびきたる。

夏は夜。月のころはさらなり、やみもなほ、ほたる螢の多く飛びちがひたる。また、ただ一つ二つなど、ほのかにうち光りて行くもをかし。雨など降るもをかし。(第一段)

【A】

春は、昼下がり。ぼかぼか暖かくなつた日ざしの中、校庭の満開の桜の下を歩く。花びらの間から見える青い空。吹く風に一斉に舞い散る花びらが、そろつてダンスをしている。

夏は早朝。太陽が昇り、さわやかで澄んだ空気の中で露草がほほえむ。また、木の葉も太陽の光を反射して、一日の始まりにエールを送る。葉っぱたちの笑顔が光る。

【B】

春は、始業式の朝。新しいクラス、新しい出会いにわくわくしながら少し早く家を出る。友達と交わすあいさつの声が、いつもと違つて聞こえる。クラス発表を待つ時間は、心臓の鼓動が大きく速くなる。早く来てほしいよな、ずつと来てほしくないよな、複雑な気分。

夏は、炎天下の昼。焼け付く太陽に負けないように、グラウンドでボールを追いかける。ボールが太陽に白くにじむ。チームメイトの声にはげまされ、自分も声を返す。楽しみは、部活を終えた後のお茶。冷たさが、しみとおる。



1 【枕草子】と【A】、【B】を比べてみると、二人は共通してある表現の仕方をまねていることがわかります。それは、どのようなところですか。最も適切なものをア～エから選びなさい。

ア 春と夏の時間ごとの自然の美しさを、聴覚を中心にテンポよく表現しているところ。
イ 観察により気付いた春と夏のよさを、ひゆ比喩を用いて印象的に表現しているところ。
ウ 春と夏の心ひかれる時間の情景を、文末を工夫してリズムよく表現しているところ。
エ 変化する自然の様子を、春と夏の風物に着目して歯切れよく表現しているところ。

2 あゆみさんは、次のような【カード】を【A】にそえました。あなたは、——線部「新しい一日に期待してはむ気持ち」を【A】のどの表現から感じますか。適切な言葉を【A】の文章中から十五字以内で抜き出して書きなさい。

【カード】

清少納言は、その季節をよく表す時刻の好ましい風景を、写真を見ているように印象的に表現しています。私も、春と夏の季節の中で一番好きな場面の情景やよさが伝わるように、工夫して書きました。用いた比喻によって、晴れやかさや、新しい一日に期待してはずむ気持ちが伝わればいいと思います。

3 ひかるさんは友達から次のようなアドバイスをもらい、文章を修正しました。あなたは、【B】と【ひかるさんが修正した文章】を比べると、どのようところがよくなったと思いますか。(書き方の例)にしたがって、二つ書きなさい。

(書き方の例)

□ (した) □ ので、

□

ところがよくなった。

この文章は、自分の気持ちを声や音と重ねて書いているんだね。せつかくだから、そこをもっと工夫するとよくなると思うよ。
また、いちばん伝えたいことは、お茶がおいしいということのように感じるな。この部分は、必要なのかな。



【ひかるさんが修正した文章】

春は、始業式の朝。新しいクラス、新しい出会いにわくわくしながら少し早く家を出る。「おはよう」。友達と交わすあいさつの声が、いつもと違って聞こえる。クラス発表を待つ時間は、心臓の鼓動がトックトックと大きく速くなる。早く来てほしいような、ずっと来てほしくないような、複雑な気分。
夏は、炎天下の昼。焼け付く太陽に負けないように、グラウンドでボールを追いかける。ボールが太陽に白くにじむ。「いくぞ」「その調子」「いいぞ」。チームメイトの声にはげまされ、自分も声を返す。流れ落ちる汗が、きらりと光る。

のど、
ところがよくなった。

のど、
ところがよくなった。

問題について

「書くこと」書いた文章の表現を考える問題
(枕草子をまねて書いた随筆を修正する)

文章を書く際には、伝えたいことが読み手に明確に伝わっているかを意識することが大切です。取り上げた材料は内容にふさわしいものか、表現の仕方はどうかということを考えて推敲する習慣を付けるようにしましょう。その際、書いた文章を読み合い、気付いたことを交流することも取り入れてみましょう。

○ 解答は、問題用紙に記入します。言葉や文章で答える問題は、条件に注意して書くようにしましょう。

○ 解答を読んで、自分で答え合わせをすることもできます。文章で書く問題は、解答の例文を参考にしましょう。



解答

17

1 ウ

2 一日の始まりにエールを送る

3 (例) ・具体的な声や音を表す言葉を入れた(ので、) その場にいるように感じられる(ところがよくなった)。
・お茶の部分をけずった(ので、) 部活動への思いが強調される(ところがよくなった)。

* 同様の内容が書けていればよい。